

北大路中だより

大津市立北大路中学校 学校通信 第3号 令和6年6月4日発行
生徒数 312名(1年86名 2年114名 3年112名) 校長 菊谷 愛

校訓 自主力行

〈学校教育目標〉
豊かな知性と情操を備え、心身ともに健康で「自主力行」に励む生徒の育成

言葉を大切に ～言葉は心を映す鏡～

梅雨入りを前に、中庭の紫陽花(あじさい)が咲き始めました。紫陽花は色が移り変わっていくので「七変化」とも言われ、花の色は土の中に含まれる pH(水素イオン濃度)やアルミニウムイオンの量によって変わるそうです。梅雨の頃に鮮やかな花を咲かせてくれるので、ぜひ見てください。

さて、最近生徒の会話を聞いていて気になることがあります。例えば、「そのことを直接相手に言ったら、気を悪くするだろうな」と思われることを、あえて伝えてけんかになったり、それまでは仲良くしていたのに、悪気は全くないたったひとことで、相手に誤解されて関係が崩れてしまったりすることもあります。

言葉の大切さが伝わる詩を紹介します。

『ひとつのことば』 北原白秋

| | |
|----------------|----------------|
| ひとつのことばで けんかして | ひとつのことばで なかなおり |
| ひとつのことばで 頭が下がり | ひとつのことばで 心が痛む |
| ひとつのことばで 楽しく笑い | ひとつのことばで 泣かされる |
| ひとつのことばは それぞれに | ひとつの心を持っている |
| きれいなことばは きれいな心 | やさしいことばは やさしい心 |
| ひとつのことばを 大切に | ひとつのことばを 美しく |



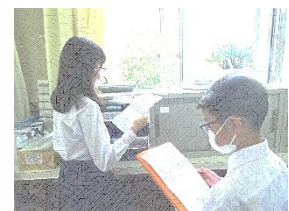
言葉はその人の心の鏡であって、心がきれいなら言葉は自然にきれいになると言われています。そしてきれいな言葉は、使う人の心も、言われた人の心もきれいにしてくれます。「ありがとう」「ごめんね」などのやさしい言葉も同じです。どのような言葉を選ぶかによって、周囲の人々との関係が大きく変わります。相手を思いやる優しい言葉、美しい言葉があふれる学校でありたいです。

6月は、「いじめ防止啓発月間」と「春の教育相談旬間」です

6月4日(火)の朝の会で、いじめダメプロジェクトチームから行動目標について放送で説明がありました。全校生徒で協力して“いじめのない安心して過ごせる北大路中学校にしていくための行動目標”を一人ひとりが考えるというものです。目標達成に向けてしっかりと取り組んでいきましょう。

また、4日(火)～28日(金)は、春の教育相談旬間です。学校生活で困っていることや悩んでいること、将来のことなど、どんなことでもいいので担任の先生と話してください。

例えば、次のようなことがいじめとなります。



大津市いじめの防止に関する行動計画(いじめの定義)より抜粋